

大雨に備える営農技術対策

後志農業改良普及センター

札幌管区気象台ホームページ

<https://www.data.jma.go.jp/sapporo/index.html>



1 大雨対策

- 1 水田では、用排水路の草刈り及び水路内のゴミ上げを行い、水の流れを確保する。
- 2 畑地の低地や排水不良地などで、大雨による滞水が心配される場合は、あらかじめスコップ等で明渠や排水溝へ排水できるよう溝を掘っておく。
- 3 ビニールハウス・農舎・牛舎・サイロ・飼料庫等に水が入り込む恐れがある場合は、施設周辺に排水溝を掘り、土のうを積むなどの対策を行って施設への浸水を防ぐ。また、ビニールハウス周辺の排水溝が浅くなっている場合は、ハウスのすき床面より低く掘り下げるなどの排水対策を講じる。ビニールハウス内のボイラーや移動できる機械類は可能な限り高所に移し、浸水を避ける。
- 4 暗きよの水こうを解放する(事前に排水口付近を点検し、ゴミ等は除去しておく)。
- 5 作物が大雨により損傷した場合は、細菌性の病気が発生する恐れがあるため、防除ができるように事前に薬剤を準備しておく。
- 6 堆肥場や尿溜に雨水が流れ込み、あふれ出す恐れがある場合は、土盛りなど行い河川への流出を防ぐ。
- 7 牧草地等に仮置きしているロールバール乾草やラップサイレージは、滞水の恐れのない場所へ移動する。
- 8 氾濫する恐れのある河川周辺への放牧は避ける。放牧する場合は、目の届く放牧地へ放牧する。
- 9 水を吸って発熱する生石灰や、漏電を引き起こす電気コードなどは、雨の当たらない場所や水がかからない場所に移動したり防水対策を行う。

※ 雨が強まってからの外作業は、事故等が発生する恐れがあるので危険です。

事前に準備を行い、不要不急の行動は控えてください。

2 停電・断水対策

- 1 常備している懐中電灯の電池残量の確認、畜舎内の整理・整頓の徹底により、夜間停電での突発的な人身事故に備える。特に、畜舎では必要電力量を把握し、自家発電機を手配しておく。所有している自家発電機は燃料を確認し、試運転を行っておく。また、断水に備え給水タンクを手配しておく。

なお、この情報は後志管内の農業者にむけて作成したものです。他の地域は最寄りの農業改良普及センターの情報を参考にしてください。

お問い合わせ先：後志農業改良普及センター(電話 0136-22-1072)